

茅ヶ崎同盟教会 教会学校だより

2007年度年間暗誦聖句 (こどもさんびか4番)

あなたがたのうちにはたらきかけて、そのねがいをおこさせ、かつ実現にいたらせるのは神であって、それは、神のよしとされるところだからである。すべてのことを、つぶやかず、うたがわないでしなさい。

それは、あなたがたが、せめられるところのない、じゅんしんな者となり、まがった、じゃあくな時代のただ中であって、傷のない神の子となるためである。あなたがたは、命のことばをかたくもって、かれらの間で、星のようにこの世にかがやいている。(口語訳)

ピリピ人への手紙 2章 13～15節



2007年度教会学校だより春の号をお届けします。本年度は13名の教師でみなさんといっしょに聖書を学んでいきます。本年度も幼稚科と小学低学年と一緒に礼拝と分級を行います。小学生から成人科までは合同の礼拝です。この1年間みなさんよろしく願います。さて春の号は先生紹介号です。各先生に、受洗年月日、愛好聖句、愛唱讃美歌、小学生のころの自分、今期のCSへの思い、の5項目に答えていただきました。

〔幼・小学低学年科〕

稲津悠紀(いなづゆき)

1957年クリスマス幼児洗礼そして1963年イースター信仰告白。マタイ6章34。7年間の母の在宅介護の時、日々このみ言葉に勇気づけられ歩んできた。マタイ7章7。高校の時、真剣に神を求め信仰の確信を得たくてこのみ言葉を信じ求め続け信仰告白に至った。讃美歌529番「ああ嬉し我が身も」信仰告白をした時に讃美した曲、243番「ああ主のひとみ」、聖歌498番「うたいつつ歩まん」、604番



「のぞみも消え行くまでに」。音楽と体育だけは6年間、成績が5であった。1・2年の頃はすべてに消極的で授業中も手を挙げる事が出来なかった。3・4年になると男の子をキックでやっつけるのを喜びとする位、活発な子に変身し5・6年になると、またまた美少女に変身し芋虫が蝶へと変わっていった。4月8日のイースターには「絵本の会」の子どもとお母さんが朝食会から参加してください、幼稚科礼拝は17名(2歳児～3年生)の子どもと一緒に守る事が出来た。今年は現在来てくれている子どもたちプラス絵本の会の小さいお友だちも続けて来てくれる様にフォロー及び内容に注意を払い祈っていきたい。

早坂美奈子(はやさかみなこ)

確か平成元年(1989)12月25日。あいさつの言葉も、宛名もなく、いきなり書き始められている『ヘブル書』が好きです。4章15節「私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯されませんでした。すべての点で、私たちと同じように、試みに会われたのです。」、12章7節「訓練と思って耐え忍びなさい。神はあなたがたを子として扱っておられるのです。父が懲らしめることをしない子がいるのでしょうか。」などほっと心安らぐみ言葉に感謝です。12才から使っている讃美歌の270番には大きく赤丸がついています。ユニケのメンバーには、地上でのお別れの時に歌ってネと頼んであります。ひ弱な一人っ子でおとなしかったのは、小学校2年生まで。突然はじめて、毎年一皮ずつむけてここまで来ちゃったという感じです。今年もかわいい幼稚科、1・2年生クラス。レベルの高いちびさんたちに難しいお話もかみくだいて伝えたいです。これがまた勉強になるんです。感謝！……

柏 真祈(かしわまき)

1996年6月30日。イザヤ書43:4。中学3年生で参加した松原湖バイブルキャンプでこの聖句に出会って受洗を決意しました。

いっぱいありすぎて選べません。讃美大好きです！お世話好きな子でした(母談)。

今年もCSの先生ができて嬉しいです。みんなといっぱい神様のお話を聞いて、いっ



ぱい讃美して、いっぱい楽しいことがしたいです。最近新しいお友だちが沢山来てくれて嬉しいです。一年間よろしくお祈りします。

加藤ちぐさ(かとうちぐさ)

1984年イースターです。テサロニケの5章16～18節。いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について感謝しなさい・・・暗誦聖句の歌でもすっかりお馴染みで、誰でも知っている箇所ですが、やはり私にとって一番大切なことです。533番「くしき主の光」、婚約式でも歌いました。特に3番「春ののどけさは・・・」春には必ず口ずさみます。「めがねざる」。めがねもさかなになり「メガネコング」のあだ名で愛された。赤いふちの牛乳ビンの底みたいなレンズのめがねがトレードマークで、元気いっぱいのおちゃな子でした。「さるとびユッちゃん」という漫画の主人公に似ているといわれたよ。教会では松本(ゴリラ)先生の腹話術の人形だった。一人でも多くの子どもを呼びたい。小学生,Come on!

馬杉めぐみ(ますぎめぐみ) 奏楽アシスタント

1988年4月3日。マタイ11章28節。すべて重荷を負うて疲労している者は、わたしのもとに来なさい。あなたがたを休ませてあげよう。アメージング・グレイス。大好きな讃美歌はたくさんありますが、何といてもアメージング・グレイス!! そのため、奏楽によく登場します。低学年の頃は、わりとおとなしい子どもでしたが、高学年の頃ははじけていました!! 今年の4月から幼稚科クラスで奏楽をさせて頂いていますが、つい子どもたちが讃美歌を口ずさんでしまうように(もちろん私も!!) 子どもたちと一緒にたくさんたくさん讃美し、神さまによって心も体も潤して頂きたいと思います。

〔小学科〕

稲津亜紀(いなづあき)

1991年12月のクリスマス礼拝です。イザヤ43章4節と54章10節。新聖歌172番「望みも消えゆくまでに」、新聖歌248番「人生の海の嵐に」先日、父の証しを読み、父がこの讃美歌をよく口ずさむ理由を知って少しばかり涙してしまいました。そして私もこの讃美歌が好きになりました。とにかく本



当に可愛らしい女の子でした。写真をお見せしたいです。大きな事は出来ないのですが、今年は小学校高学年とジュニア・サポートをさせて頂くので、大人顔負けの多忙な毎日の中、教会に来てくれる子ども一人ひとりのために祈り続け、一人

ひとりと真剣に向き合いたいです。私に出来ることは何かを神さまに祈って聞きながら奉仕させて頂きたいです。

森本 成（もりもとおさむ）

1993年4月11日。 テサロニケ5章16～18節。パソコン画面には、この欽定訳がスクリーンセ이버に、ノーマン・ロックウェル画“Praying Grace”の壁紙と共にセットされております。金管バンドが好きで、讃美歌集にはありませんが英国の第二国歌といわれるH.パリーの「エルサレム」や英国国教会讃美歌曲名(tune name)「ヘルムズリー」、「サジーナ」、「レプトン」などをよく聴きます。312番「いつくしみふかき」は救世軍本営バンドの演奏に感激した思い出があります。クリスマス・キャロルは大好きで、2006年暮れに初めて救世軍社会鍋募金でラッパ演奏しました。漫画『こち亀』に両津勘吉の少年時代が出てきますが、学校がおわると駄菓子屋、模型ヒコーキ、野球、紙芝居、月光仮面ごっこの世代でした。映画館でラムネのピンを割ってビー玉を出す、なんてことはしませんでした。小学科は生徒さんが少ないので、分級では教師たちが寄ってたかってバイブル・ケアをしようと思っています。

*編集注 Jerusalem = ヒューバート・パリー曲、ウィリアム・ブレイク詩、エルガー編曲版もある。Helmsley = 讃美歌第二編54番, Sagina = 新聖歌226番, Repton = 讃美歌21・516番。

安田雄子（やすだゆうこ）

1971年4月11日。 イザヤ書44章22。自分でもよく解らない罪の意識や不安に心が重くモヤモヤしていた青春の日、このみ言葉によってはっきり自分の罪がわかり、足元から崩れ、全身が打ち砕かれた気がしました。この神さまに屈服し、従っていきたく決めました。コリント5章17。どんな時も新鮮な感謝を心に保っていきたくです。讃美歌461番「主われを愛す」。幼い頃、母がよく口ずさんでいて、意味もわからず耳に馴染んでいた曲です。詞もメロディも大好きです。1年生の休み時間は、砂場で男の子と相撲をとって投げ飛ばしていた（その中の泣き虫の子をジャスコで見かけたらおじさんになっていた）。6年生になると少しおとなしく新聞部を楽しんでいた。6年間、お勉強のことは記憶になく、めいっぱい遊んで楽しい日々でした（あの頃に戻りたいナ～）。幼稚科から成人科まで幅広い年齢層に恵まれています。いろいろな場面で交流を深めて、みんな仲良しの活気ある教会学校にしたいです。今年度の神さまのご計画に期待し、祈りつつ歩みたいと思います。

〔中・高科〕

大木怜子（おおきさとこ）

高2のクリスマス。詩116篇とロマ8章37～39節(^o^)。たとえどんな状況にあっても、神様は私を愛し、助けて下さる!! 聖歌609番(^o^)。神様の—

方的な愛が迫ってくる感じが勇気づけられ、素直に我もまた主にぞつくという気持ちになるから。 浜小。色黒で、ガリガリで小さかった(>_<)デモ、小学校までは、わりと良くできる優等生 f(^_^)(中学の友達は今信じませんが (^_^;)?)。私自身がクリスチャンになった年頃 p(^-^)q, そして誰にとっても心の中で大きな位置を占める思春期 (*^^*)今、神様と出会って生きていければ、たとえ辛く不安な事に出会っても、勇気を持って乗り越えられることは、確かです!(^^)! 私自身が迷い苦しみ、また一方で友達と楽しく青春を満喫し(遊び倒し)た頃を思いだしながら、一緒に学んでいきたいです。~(^_^)/~~~~



弓桁あずさ(ゆみけたあずさ)

1984年6月17日。 ヨシヤ記1章9節,ピリピ書2章13~15節(共に口語訳)。 讚美歌21・575番「球根の中には」,新聖歌257番「キリストは生きておられる」,当CSこどもさんびか集207番「わたしがなやむときも」, 4年生までとても神経質なまじめな女の子だった。5年生から“ハシコロ・ジェネレーション”に突入,現在に至る。いつもちびで,声は大きかった。 怜子ちゃんと一緒にジュニア科を担当して2年目。塾の生徒も何人かいて,お互い気心が知れて,とても楽しい。自分がジュニア科の時,自分の疑問にしっかり答えてくれる先生を求めていたので,彼らにとって自分がそういう先生でありたいと思い,準備している。

*編集注 ハシコロ・ジェネレーション=おはしがころげてもおかしい年頃のこと,本人はまだ続いている。

〔成人科〕

飯田純子(いいだすみこ)

昭和31年(1961)12月22日。 ヨハネ第1,4章8節「神は愛なり」。ずっとこの聖句に支えられてきました。 321番「我が主イエスよ」。基本的に讚美歌はどれもみんな好きです。思いつくままに歌っています。 引っ込み思案でした。今でいうならいじめられていまし



た。思い返しても楽しい思い出が浮かびません。一人でも多くの子どもが来てほしい。み言葉に教えられ養われることが大切と思います。奉仕者の上に神さまの導きと精霊の満たしがありますように。

川島正子（かわしままさこ）

1967年12月25日。ガラテヤ 2:20(恩師の牧師が病床で励まされておられた忘れられない聖句), ヘブル書 12:1(今年の自分の目標聖句), 詩篇 259(アメリカに学びに行くとき与えられたその後も励まされている), ゼカリヤ 4:6(今これしかない)。「神のみ子にます」, 「神は愛なり」, 「キリストの愛われに迫れり」, 「鹿のように」, 「もうふりむかない」。身長が学年で2番くらい高かったが逆上がり, うんてい, 登り棒は出来ない, ドッジボールはすぐ当てられるし体育は大の苦手だった。走るのも遅かったから運動会は大嫌いだった。歌を歌うことは大好きでいつも歌を歌っていた。ぬりえが大好きで“きいち”のぬりえをよく母に買ってもらい雨の日など外に行けないと描いていた。高学年になると高橋真琴の絵を真似して今で言えばアニメの絵を暇さえあれば描いていた。ランドセルに入れた教科書や持ち物を何度も何度も調べるので母や姉に「心配性ね」といつも言われた。19歳で洗礼を受けてからは人格が変わった? 今年度もご奉仕させていただけることを主に感謝し, 教会員の皆さんのお祈りに感謝します。CSの先生方の毎週のメッセージは毎回素晴らしく私たちだけで聴くのは申し訳ないくらいでたくさんの教会員の方にも聞いて欲しいくらいです。CSに来られるお子さん達が熱心にこうした聖書のお話を聞いて信仰の種が植えられていくこと, また神様が私たち人間に尊い聖書の解き明かしの業をするように命じられていることを思うとき, 身の引き締まる思いがいたします。教会の宣教の業としての教会学校のご奉仕を, 『権力によらず, 能力によらず, ただわたしの霊によって』(ゼカリヤ 4:6) と言ってくださる主に今年も期待してまいります。

* 編集注 『きいちのぬりえ』 薦谷喜一(つたやきいち) 作 昭和 22~30 年後半にかけ全国の少女たちに愛された。現在でも小学館より出版されている。高橋真琴(たかはしまこと) 1934 年大阪生まれ, 貸本漫画でデビューし, 雑誌「少女」連載漫画で人気作家となる。

古川盛弘（こがわもりひろ）

私の受洗年月日は 1999 年 10 月 3 日です。愛好聖句は歴代志上 4 章 9~10 節です。これはヤベツの祈りであり, 私がここを読んだ時にパウロの様に目からうるこがとれる思いをしたのをはつきりと感じた所です。愛唱讃美歌は 112 番「もろびとこぞりて」です。だれもが知っている歌で, リズムよく歌え, 明るい気持ちになれる歌なので大好きです。小学生の頃は, 原っぱを走り, 魚とり, ザリガニとりに明け暮れ, 毎日泥まみれになって家に帰り, 怒られてばかりの子どもでした。今年の担当は成人科ですが, 飯田さん, 川島さんと共に 3 人で盛り上げて, もっと成人の生徒さんを増やしていく事や, クリスマス祝会以外にも,

色々と行事に参加できる様にしていきたいと思います。

〔CS 聖歌隊〕

森本 成（もりもとおさむ）・安田雄子（やすだゆうこ）

4月に入り、毎週のレギュラーだった絵美ちゃんは中学校の部活が始まり、毎週の出席がかなわなくなり、さみしく思っていました。でも神さまは次に続くメンバーを贈ってくださいました。3歳の和奏ちゃんです。おば様の亜紀先生が連れて来て下さいます。可愛い讃美の声が朝の礼拝堂に響くこと。また、神さまの前で、讃美を捧げられることの幸せを感謝とともに与えられています。森本校長先生が毎月の曲を用意し、ご指導下さいます。一度、聖歌隊をのぞいて下さい。メンバーを求めています。（奏楽担当・安田雄子 記）

〔フリー〕

熊谷 徹（くまがいとおる）& 熊谷麗子（くまがいれいこ）牧師夫妻

「見よ。子どもたちは主の賜物、胎の実は報酬である」（詩 127 篇 3 節）。子育てにおいて最も大切なことのひとつが、「子どもたちは主の賜物である」ということを自覚することではないでしょうか。子どもは神様からいただいた尊いプレゼントであり、主からお預かりした大切ないのちなのだという認識です。親はそのことを覚えつつ子どもたちを霊肉ともに健やかに育てて欲しい、と願うものです。この茅ヶ崎同盟教会の教会学校が、子どもたちの成長のために豊かに用いられますように！そのために労しておられる教師たちの働きが祝されますように！そして何よりも子どもたちが神の愛に包まれ健やかに成長しますようにと祈るものです。（熊谷 徹 記）



〔教会学校のこれからの予定〕

6月17日父母の日礼拝 午前9時より

みなさんのお父さんやお母さんをお招きして一緒に礼拝を行います。参加者プレゼントもあります。夏期学校のご案内もいたします。是非ご参加ください。

7月21～23日夏期学校・奥多摩福音の家

JR 青梅線の古里駅から徒歩7分にある奥多摩福音の家にて本年度も夏期学校を開催いたします。幼稚科から成人までを対象として、多摩川の上流、緑豊かな山々

に囲まれた静かな場所で、聖書の学びとゲームやバーベキューなどを計画しています。みなさまのご参加をお待ちしております。

参考 リーベンゼラ日本宣教団「奥多摩福音の家」〒198-0105 東京都奥多摩郡奥多摩町小丹波 135 0428-85-2317 <http://www1.odn.ne.jp/ofi>

編集後記 (May,10th.2007 Updated)



今期は、幼稚科の奏楽アシスタントを含め13名の教師陣となりました。おなじみの顔ぶれに戻り、教師の平均年齢が大幅に上昇しました。まだまだ元気ハツラツですから心配はいりません。今年はアンケート形式の自己紹介としました。各先生のプロフィールをお楽しみください。教会のホームページにもこの教会学校だよりが掲載されますので是非ご覧ください。今回も、写真はホームページを管理してられる稲津五十吉兄に担当していただきました。(森本)



2007年4月8日イースター朝食会にて